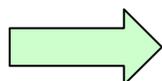


無停電電源装置(CVCF)の入力側電源切換装置のブレーカが双方とも「切」となる要因の検討結果

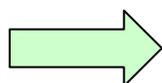
人の操作



可能性なし

監督職員、改修工事作業員、外部の者による操作の可能性について検討したが、監視室からは1, 2系のどちらかは選択できるが、両方の電源切換器を「断」にすることはできない。また、現場では「遠方・自動」モードのままでは操作できないことから可能性はない。

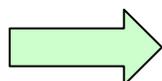
サイバーテロ



可能性なし

当該施設のインタフェース制御装置は、インターネット、電話回線等の一般公衆回線と直接接続していないため、一般公衆回線からのサイバーテロの可能性はない。また、専用LANへの直接接続する端子は監視室に1カ所あるのみで、接続にはメーカー固有の特殊なプログラムが必要なことから可能性はない。

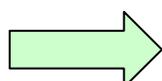
インタフェース装置の障害



可能性あり

CVCF用インタフェース装置(ソフト、ハード)からCVCF用入力側電源切換装置の遮断器(ブレーカ)を誤動作させる信号が発出された可能性が高いことが分かった。

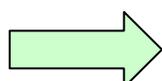
電源システムの故障



可能性なし

当該施設の上位又は下位の電線路において短絡、地絡事故、瞬時電圧降下、停電等の故障がなかったことが確認できたことから可能性はない。

その他



可能性なし

当該施設の振動、小動物の侵入等について確認したがそれらの事実はなかったことから可能性はない。